

私達の未来に向けて

沖縄市立美東中学校 3年 濱元 香音

私のいとは、JICAの青年海外協力隊として、海外で活動していた経験がある。開発途上国の人々のために技術や知識、経験を生かし、課題解決に取り組んでいく。教育や医療、IT指導など、多様な職種が要請され、日本の技術やノウハウを二年間、ボランティアとして伝授する。この事業を、私はいとはを通して知り、調べてみた。JICAという組織は、日本の政府開発援助、ODAを行う実施機関として、国際協力を行っている。ODAとは、開発途上国の経済発展や福祉の向上のために先進工業国の政府が行う経済協力や支援のこと。その費用は、税金によって成り立っている。

私は税金に、身近な所の整備や医療等に使われているイメージぐらいしかなかった。両親が話していた、自動車税や固定資産税、ガソリンの半分ぐらいは税金なんだよ、という言葉はきいたことがあった。中学生の私は、買い物のときの消費税ぐらいしか払ったことはないが、世の中には多くの税金があり、私達の生活に必要な所を支えているものだ、と漠然と思っていた。その税金の令和三年度の予算の〇・五パーセント、金額にすると五千億円ほどが、世界の人々の支援のために使うとかいてあった。日本の国民が納めた税金なのに、外国のために使われているのか、と少し拍子抜けしたが、思い返すとやはり大事なんだと実感できた。東日本大震災のとき、たくさんの国から支援がきたというニュースを見たり、道徳の時間にきいたことがある。地球全体の問題解決であったり日本の経済や貿易の発展にも繋がっていくと分かり、ODAは重要だと思った。

現在、私は市のこども議会に参加している。市内の中学生が集まり、市について学び、身の回りの課題解決のための活動していくプロジェクトだ。違う学校の仲間と集まり、いろんな方の講演をきき、積極的に話し合っただけでなく、なかなかする機会のない貴重な経験をさせていただいている。普段の自分自身の視点が変わったりと、とても楽しく気付きの連続である。このプロジェクトの活動費用は、市の税金から出ているときいた。感謝を忘れず、私自身の経験として役立てられるよう、活動をがんばりたい。本当にありがたいことだと思う。

あまり意識したことがなかったが、税金は本当にいろいろなことに役立てられていると改めて知ることができた。朝起きてから夜寝るまで、教育面や設備など、たくさんの税金に支えられている。私も大人になったら、そのことを忘れず、しっかり納めていこうと思う。また、私は英語が好きで、アジアにも興味があり、国際系の学校に進学する予定だ。国際的なことにも税金が使われているということ、そして地球の未来にも役立っているということを考えながら、過ごしていきたい。